

Press Release

2007 年 6 月 22 日

タイでの製造計画の中止と国内での新計画

当社は、かねてより計画しておりましたタイ国内での Dura シリーズの生産計画を中止し、これにかえて日本国内において、生産を行なうことを決定いたしました。

現在、奈良事業所にて生産しております Dura シリーズは、昨年の7月の生産開始以降、その出荷数は累計約 1,000 台に達しております。出荷時に行なう精度検査の結果、全機台が外国為替及び外国貿易法上の輸出管理に該当する精度(位置決め精度 6 μ m以下)を、遥かに凌駕する機種(以下 該当機種)であることが確認されました。

該当機種を非ホワイト国[注]で生産する前例が国内には無いため、弊社の輸出管理委員会で検討を重ねておりましたが、Dura シリーズの販売を含め、予想以上に拡大する受注への対応を前倒しする為にも、非ホワイト国であるタイ国での生産計画を中止し、日本国内(奈良県もしくは三重県を中心として検討中)で生産する決定を致しました。

新 Dura 工場は 2008 年 4 月稼動を予定し、2009 年 3 月期中に月産 100 台相当の生産を目指します。投資金額は約 40 億円、従業員最大 100 名、年間出荷額 100 億円を予定しています。

なお、老朽化して来ておりますバンコク市内のテクニカルセンタに代わり、同国内ロジャナ工業団地にて、土地 5,000 坪、建物 2,500 坪、従業員 100 名程度の規模でテクニカルセンタ、タイ国内企業向けトレーニングセンタ、ショールーム、タイ国内製の鋳物等の調達および日本への輸出業務を 2008 年 4 月より行う予定です。

御参考)中止としたタイ国での当初の計画

投資金額 50 億円、従業員約 200 名、2010 年 3 月期中に月産 100 台の生産能力を予定

[注]

大量破壊兵器等に関する条約に加盟し、輸出管理レジームに全て参加し、キャッチオール制度を導入している国については、これらの国から大量破壊兵器の拡散が行われるおそれがないことが明白であり、俗称でホワイト国と呼んでいます。正式には、「輸出貿易管理令別表第 3 に掲げる地域」です。

具体的には、アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、大韓民国、ルクセンブルク、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカの合計 26 ヶ国です。(経済産業省 HP 安全保障貿易管理 Q&A・用語集より)

http://www.meti.go.jp/policy/anpo/kanri/qayougo/q_a_2/qa3/qa3.html